

# 事業結果要約報告書

受付番号

2022 KJ-004

—科学技術振興関係—

公益財団法人 **マツダ財団** 御中

2023年 5月 10日

所属機関名 山口大学

申請代表者

役 職 特命職員

フリガナ オカダ ヒデキ

氏 名 岡田 秀希

マツダ財団から受けた 助成金 150 千円 による事業結果について、  
次のとおり報告します。

助成事業名

**ポストコロナに向けた「おもしろ科学教室」の実施 ～科学体験の提供と指導者育成**  
( 事業期間：2022年 6月 1日～2023年 3月 31日 )

	計 画	実 施 結 果
事 業 内 容	日時 2022年6月18日～2022年8月20日 場所 公民館等 14会場 対象 小学生、保護者等 定員 <u>305人</u> 内容 公民館での科学教室の実施	日時 2022年6月18日～2022年10月1日 場所 公民館、学童保育等 34会場 対象 小学生、保護者等 参加者(人) <u>1,536人</u> 内訳 (児童・生徒; 1,322人) (保護者等; 214人) 内容 公民館等の公共施設での科学教室の実施 夏季学童保育での科学教室の実施 地域のイベントへのブース出展

### 事業の目的・ねらい

・コロナ感染者の減少傾向を受け、地域のイベントが制限付きながら再開してきた。各地の公共施設や団体でも、感染防止対策を施した上で行事を開催している。本事業では、アフターコロナに即した体験イベントの運営方法を確立するため、実践の積み重ねにより必要なノウハウを蓄積する。安全安心な科学教室の運営体制を整備することで、実体験を通じて科学技術に対する興味関心の増進を図ることが可能となる。

・企業等で定年をむかえた世代のセカンドライフの充実のため、子どもたちに対する科学教育の機会を提供する。現役時代の技能や経験を活かせる専門性を有する実施プログラムを開発する。現役を引退後も地域社会の中での多世代間交流によって、社会との繋がりを実感しつつ、生き甲斐や楽しみが感じられる場を創出する。

### 事業の概要

#### 1. 出前科学教室の実施

山口県内の32ヶ所を訪問し、体験型の科学教室（所要時間：1～2時間）を実施した。訪問先は、(A)公民館活動、(B)学童保育、(C)放課後子供教室、(D)科学クラブに分類される。教室は休憩を挟んで実験と工作の2部構成で実施した。

また、地域で開催された2つのイベントに、シニア世代のスタッフとの協働による科学体験ブースを出展した。ブースの運営（指導補助）には複数の大学生も参加した。

#### 2. シニア世代の活躍の場の提供

一部の活動において、企業の技術者出身のシニア世代の協力者との協働で科学教室を実施した。実施にあたっては、事前に機材の取扱方法に関して予行演習をするとともに、実験内容や工作材料などに関して要望を取り入れた。

#### 3. 新規プログラム「水素のエネルギー」の作成、機材の整備

次世代のエネルギーとして世界的に注目されている「水素」をテーマとした体験型のプログラムを開発し、既存のプログラムと合わせて使用した。演示実験には、インパクトの強い迫力のある現象を選択的に取り入れた。

（プログラムの構成）

- ・地球温暖化と脱炭素社会、環境とエネルギー問題 【総説】
- ・再生可能エネルギー（自然エネルギー）の種類、発電の方法 【解説＋実験】
- ・水素で走る自動車（内燃機関と燃料電池の違い） 【解説】
- ・水素を知ろう（水の分子の構成、水素を集める方法、水素と電気） 【実験】
- ・水素の実験（水の電気分解、水素と酸素の性質、水素爆鳴気、燃料電池発電） 【実験】
- ・自然エネルギー「風力発電」に関連する工作 【工作】

### 成果・効果

- ・児童、保護者など1,536名に対して、高度な内容で印象深い科学体験の機会を提供することができた。
- ・21会場で実施した満足度調査（5段階評価）では、18会場から「5」、3会場から「4」の高評価を受けた。
- ・山口大学のホームページ（トピックス欄）を通じて、本事業の活動内容を広く紹介した。

<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/news/9530/index.html>

<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/news/10088/index.html>

<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/news/11134/index.html>

<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/news/11772/index.html>

小学校の夏休み期間を中心に、県内各地で体験型の科学教室を実施した。また、時代に即した新しいテーマのプログラムを開発し、既存のプログラム群の充実を図った。今後は、実践の場での映像の収録に力を入れ、ネットを通じた科学技術の普及・啓発にも対応できるようなコンテンツの整備を進める。

写真、図



㉓ 8/10 小月公民館



㉔ 8/13 山口県児童センター



㉕ 8/19 長府児童クラブ



㉖ 8/20 菊川ふれあい会館

## 2022 年度 活動実績

(施設・団体)

No.	月日	場所	種別	参加人数	シニア協働
1	6月18日(土)	萩市 萩セミナーハウス	D:科学クラブ	28名	☆
2	7月17日(日)	宇部市 東岐波ふれあいセンター	C:放課後子供教室	43名	
3	7月23日(土)	下関市 勝山公民館	D:科学クラブ	31名	
4	7月24日(日)	下関市 田耕公民館	A:地域ふれあい活動	13名	
5	7月27日(水)	下関市 誠意児童クラブ	B:学童保育	39名	
6		下関市 養治児童クラブ	B:学童保育	22名	
7	7月28日(木)	下関市 本村児童クラブ	B:学童保育	9名	
8		下関市 きくがわ児童クラブ	B:学童保育	33名	
9	8月1日(月)	下関市 熊野児童クラブ	B:学童保育	109名	
10		下関市 安岡児童クラブ 支援1,2	B:学童保育	69名	
11	8月3日(水)	下関市 長府東公民館	A:地域ふれあい活動	22名	
12		下関市 豊浦児童クラブ	B:学童保育	54名	
13	8月4日(木)	下関市 吉田公民館	A:地域ふれあい活動	33名	
14		下関市 長府公民館	A:地域ふれあい活動	38名	
15	8月6日(土)	下関市 北部公民館	A:地域ふれあい活動	26名	
16		下関市 王喜公民館	A:地域ふれあい活動	11名	
17	8月7日(日)	下関市 彦島公民館	A:地域ふれあい活動	14名	
18		下関市 吉見公民館	A:地域ふれあい活動	9名	
19	8月8日(月)	下関市 垢田児童クラブ	B:学童保育	29名	
20		下関市 向山児童クラブ	B:学童保育	44名	
21	8月9日(火)	下関市 川中児童クラブ	B:学童保育	93名	
22		下関市 角倉児童クラブ	B:学童保育	31名	
㉓	8月10日(水)	下関市 小月公民館	A:地域ふれあい活動	22名	
㉔	8月13日(土)	山口市 山口県児童センター	A:センター行事	24名	
25	8月17日(水)	長門市 中央公民館	D:合同イベント	20名	
26	8月18日(木)	下関市 勝山児童クラブ	B:学童保育	103名	
27		下関市 西山児童クラブ	B:学童保育	33名	
㉖	8月19日(金)	下関市 長府児童クラブ	B:学童保育	63名	
29		下関市 クルーズ長府	B:学童保育	12名	
㉗	8月20日(土)	下関市 菊川ふれあい会館	D:科学クラブ	20名	☆
31	8月22日(月)	下関市 吉見児童クラブ	B:学童保育	20名	
32		下関市 安岡児童クラブ 支援3,4	B:学童保育	45名	
小計				1,162名	

(イベント出展)

No.	月日	場所	出展イベント名	参加人数	シニア協働
33	7月31日(日)	宇部市 むべの里光栄	らららキッズ サマーフェスタ	90名	☆
34	10月1日(土)	長門市 ルネッサながと	長門サイエンスフェスティバル	284名	☆
小計				374名	